

# 公議研究

青山忠正（佛教大学）

王政復古前後の政局と公議  
— 新発田藩を事例に —

上田純子（山口県史）

幕末の親政と御前会議  
— 萩藩を事例として —

宮下和幸（金沢市立玉川図書館）

加賀藩における政治意志決定と「藩公議」

ポ  
ジ  
究

ウ  
ム  
会

## ◆開催趣旨

明治維新のさいに大きな鍵となった言葉に、「公論」「公議」があります。幕末社会に流行したこの言葉は、その問題点も含めて、近代日本の民主主義の礎となりました。今回本研究会では、佛教大学の青山忠正氏をお招きし、

新出の史料から幕末政治と合意形成の関係について語って頂きます。また、長州藩・加賀藩の専門家である、上田純子氏（山口県史）と宮下和幸氏（金沢市立玉川図書館）に、2つの関連報告をして頂きます。

## ◆主催

「公議」研究会  
科学研究費（基盤研究C）  
「幕末維新时期における「公議」の研究」  
研究課題/領域番号17K03113  
研究代表者：奈良勝司

2019年3月24日  
13:00～18:00  
場所：立命館大学茨木キャンパス  
会場：A棟AS368